



創立147年 伝統を受け継ぐ



2月5日、本校は創立147年を迎えました。昨日の創立記念日には、放送による朝の会を行い、147年の歴史と伝統を受け継ぐ児童として、しっかりと学び、一小を前進させていこうとお話をしました。

明治6年2月5日に開校した本校は、明治9年明治天皇の東北巡幸に随行された木戸孝允の書

「終始一誠意」を校訓とし、一誠の教育「誠実で人間性豊かな子ども」の育成を教育目標に掲げ、日々の教育活動に一丸となって取り組んでいます。これからも、伝統を受け継ぎ、地域の信頼に応える学校づくりに邁進してまいります。今後とも本校の教育活動に御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

○創立記念日に嬉しいお話を聞きました。

昨日、朝の放送を聞いて、2月5日が一小のお誕生日と改めて知ったなごみ学級の子どもたちが、「今日は、一小の誕生日。一小は、何をしたら喜ぶかな。きれいにしてあげたら喜ぶかな。」と協力して掃除をしてくれたそうです。子どもたちの一小を思うやさしく温かな心、一小への誇りを持って気づき考え実行しようとする姿に、担任とともに心が温かくなりました。

2月から、キッズ班による清掃は、班長を5年生が引き継ぎ、リーダーシップを発揮しています。6年生が見守る中、次期最高学年となる5年生が下の学年をまとめ頑張っています。昇降口の壁には、「新班長を中心にまとめの清掃をしっかりとやろう!」のスローガンのもと、6年班長からのメッセージと5年新班長の決意が掲示されています。新たな伝統を引き継ぐ児童の頑張りを期待しています。



○放送委員会 +1 (プラス1) 「一誠大放送祭」実施中!

各委員会の今年度の取組について、たびたび学校便りでお知らせしていますが、放送委員会では、一誠大放送祭を展開しています。

昨日の昼の放送では、各クラブ長や各委員会、代表委員会から、今年度の成果や取組について聞き取り放送しました。クラブ活動では、6年生として部員をまとめ教えることの難しさ、その中であって下の学年の成長や、進んで準備や片づけをしたりアイデアを出し合ったりと主体的に活動を進めることができるようになった喜び、様々な実験や実習での楽しさや勉強になったことが発表されました。各種委員会や代表委員会では、新しい活動へのチャレンジや力を合わせて取り組んできたことへの達成感や充実感が語られていました。今後も、プラス1の取組で、もっとやれる・できる自分を実感させ成長につなげていきたいと思えます。